Cクラフィックサービス No.853 2022 12

■ 巻頭言

山を登る事。

■ 巻頭企画

11.11-12 全国協議会を開催 DX事業の中間発表 & 支部活性化を議論

読まれるプッシュ媒体 ネット媒体は苦戦

広報事業に関するアンケート調査

■ 連載・シリーズ

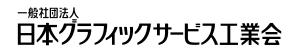
需要創出を考える25

陽光社印刷(株)さん(福島)の事例

■ NEWSとお知らせ

ジャグラ作品展 募集開始! 東グラ60周年記念式典に190人が参加 関東地協千葉大会に60名強が参加











Ⅲ グラフィックサービス

発行 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

電子版無料公開中!

スマホでも本誌が読めます

公式HPで本誌PDF版を公開中! 毎月、紙媒体より早くご覧いただけます バックナンバー閲覧もここから



https://www.jagra.or.jp/



「ジャグラ BB」もご覧ください 経営・教育番組を多数配信中! jagrabb.net

■ 巻頭言

- 1 **山を登る事**。 東京·城西支部長/衛弘陽写真社 山 下 昭 弘
- 巻頭企画
- 2 11.11-12 全国協議会を開催 DX事業の中間発表 & 支部活性化を議論
- 4 読まれるプッシュ媒体ネット媒体は苦戦広報事業に関するアンケート調査 集計結果
- 連載・シリーズ
- 26 需要創出を考える25

『Shock of Dali』展図録

ジャグラ作品展/業務用印刷物部門 厚生労働省人材開発統括官賞陽光社印刷(㈱(福島) 制作部部長 安斎信也

- 特別企画
- 22 **ジャグラの一年を振返って** ジャグラ専務理事 田 中 良 平

- **■** NEWSとお知らせ
- 10 ジャグラBBホットニュース
- 12 環境優良工場表彰 応募受付中!
- 16 職長等の安全衛生教育が義務化 来年から製本・印刷物加工業が対象業種に
- 20 ジャグラ作品展 募集開始!
- 21 日本自費出版文化賞作品募集
- 23 業界の動き

東グラ60周年記念式典に190人が参加 関東地協千葉大会に60名強が参加 日本自費出版文化賞表彰式を実施 製紙各社が再度の値上げ

- 9 野□聡の雑学コラム 24-25 書籍紹介
- 29 事務局日誌と今後の予定/退職のご挨拶
- 11 富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ(株)
- 13 ホリゾン・ジャパン(株)
- 14 (株)小森コーポレーション
- 15 リコージャパン㈱
- 17 (株)モリサワ
- 18 (株)ショーワ
- 19 東京リスマチック(株)
- 表4 リョービ MHI グラフィックテクノロジー(株)

本誌へのご意見・ご要望・記事提供は下記宛お寄せください

E メール edit@jagra.or.jp 電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006

お手紙 東京都中央区日本橋小伝馬町 7-16 〒 103-0001 (一社)日本グラフィックサービス工業会 宛

山を登る事。

東京・城西支部長(예弘陽写真社) 山下昭弘

今年6月に東京・城西地区の支部長を拝命しました、 (有弘陽写真社の山下と申します。印刷業界は激動とも言える大変な時代を迎えていると思います。そんな時ではありますが、自分自身と向き合う大切さがあるのではないかと思い、お話させて頂きます。

私の趣味は登山です。始めてからもうすぐ11年になります。当時、私の体は無頓着に太りに太っていましたが、学生の頃は体育会系の部活で体力には自信があったので、まぁ大丈夫だろうと楽観視していました。それでも失敗しない様にしようと、知識を得るために本や雑誌を買い、登山専門店へ足を運び少しずつ準備を進めていきました。

色々と調べていくうちに、数々のハードルが立ちはだかりました。1番は自分の体型でしたが、2番目に高山病がありました。聞いた事はあった病ですが、この理解を進めていくうちに、血管系の疾患により命を落とす事になるかもしれないと思い、脳心臓のドックを受診しました。結果は問題ありませんでしたが、並行して受診した健康診断の血液検査ではお恥ずかしい限りの不摂生の極みとも思える結果で、ダイエットの必要性が数値的にも裏付けされてしまいました。

3番目のハードルは単独登山の危険性でした。こればかりは1人で進める事はできず、私にとって最大の難関でした。妻を巻き込むのが一番早いと考え、「反対されても丁寧な応対で時間が解決していくだろう。」という私の試みは見事に当たり、紆余曲折ありましたが、最終的には一緒に準備していく様になりました。

数々のハードルを乗り越えて、翌年夏に3000 m級の高山を実際に経験してみようと乗鞍岳に初めて登った時には、名前すら知らなかった美しい山々が、知識で得たものと合致し、とても新鮮でした。高山病の心配は何処かへ飛んで行ってしまい、もう富士山どころでは無く目標は突然にアルプスになりました(笑)。

その後、無事に富士山を登頂しました。また、年間を通して

健康診断や病院通いをしながら、トレーニングのために 自宅近くの山へ通い詰めています。富士山を毎年登る事 によって、その年の体力をチェックし「まだ見た事のな い山々を生きているうちにこの目で見てみたい」との一 心で登り続けております。

コロナにより外出ができなくなった時、体重が増えて 元の姿に戻ってしまい大変悲しい思いをしましたが、ア ルプスの雄大な映像をテレビで見続けておりました。

不安の中を1人で進むより、仲間と一緒に情熱を持って進むのが一番だと、登山中に辛い時は私自身を奮い立たせています。それでも山頂は雨やガスの時もありますが、諦めずに何度も登山し続ければ、必ずいつの日か晴れる日が来ます。

若い時に、諸先輩の方々が「情熱を持ち続けろ」と言われていた事を思い出しました。どの様な事なんだろう、と長い間思っておりましたが、その言葉の意味が少しだけ理解できた気がしています。もしかしたら仕事や商売も同じ事かも知れません。

辛い時こそ原点に戻り、情熱を絶やさずにいれば必ず晴れる!

暴風雨の吹き荒れる激動の時代ではありますが、皆様と共に山頂を目指す事ができれば、 大きな苦難もハードルも乗り越えるのではないかと思う次第です。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



丹沢から見た富士山



南アルプス北岳と縦走路



11月11-12日の二日間、東京ドームホテルで、令和4年度全国協議会が開催され、DX事業の中間発表や支部活性化について話し合いました。

 \times

DX 事業の中間発表&グループディスカッション

会議冒頭、岡本会長は「活発に議論したい。コンパクトDXは業界内で色々と告知している。それぞれがしっかり仕事を行い、着実に前進している。業界、ジャグラのためにボランティア精神で活発に動いている。今まで以上に加速してジャグラの絆を感じている。本当に感謝している。今回、会員募集パンフレットを新たに作成した。新入職員を前面に、中面は文字を少なく分かりやすく活動を紹介している。親しみやすさを感じてもらえると思う。ジャグラのイメージを変えて会員増強を図っていきたい。支部長の皆さんもぜひ活用いただきたい」と挨拶を述べました。

協議会一日目の前半は、ジャグラコンパクト DX 事業の中間発表を行いました。

生産性向上委員会は今期検討してきた内容の振り返りと、会員企業の実態調査として、匿名でヒアリングした会員企業の現状と課題を報告。ヒアリングから「社長(もしくは実質トップ)の属人性の排除が必要」との結論に達し、6月の愛知大会で発表したロードマップに、「フェーズ 0 既存工程・既存設備の棚卸」を加え、『創注のための社長さんの働き方改革』を目標に据えました。

MIS 研究委員会は、単品損益管理の必要性について おさらいしつつ、最初の一歩として、アナログ的なス ループット調査票を用いた現状認識を有志企業で実施 した後、その中間情報交換として、座談会を実施。実際にスループット調査票を使った会員企業の感想を紹介しました。また、見える化の大切さを訴求するマンガ動画の新作を披露。最後には各支部で勉強会ができるよう取り組みキットを用意したと述べ、全国でのスループット調査票の活用を要請しました。

地域活性化委員会は、DX の発表以降検討を進めてきたクイックスの健診 Assist の緯度経度システムを転用した新たな市場、システム開発について発表。「ジャグラコンパス」の名称でシステム化し、企業や学校で配られるセーフティーカードをアウトプットに、パーソナライズした情報を付加する独自のアプリケーション開発に着手したことを報告しました。

業態進化委員会は、活動履歴を振り返りながら、委員から集めたツールリストを披露。先行して検討の進むソフトをいくつか紹介し、今後の提供方法などを説明しました。

また、サスティナブル委員会でオブザーバーを務める髙橋さん(栃木県支部長)からご当地マスクと SNSを使った活動について提案がありました。(後日改めてご紹介します)

後半は地協ごとにテーブルに分かれ、支部活性化についてグループディスカッション形式で支部長、地協会長らが意見を交わし、具体的な方策を検討しました。

グループディスカッションの後は、年賀状デザイン コンテストの表彰式が行われ、カラー部門の小野高速 印刷さん、モノクロ部門のインフォテックさん、学生 部門の佐藤胡桃さんに賞状と副賞が授与されました。

一日目も終盤で恒例の次回全国大会 PR があり、ジャグラ文化典高知大会の坂本実行委員長が来年の6月









ジャグラコンパクト DX の中間発表 左から生産性向上委員会の宮崎委員長、MIS 研究委員会の稲満委員長 地域活性化委員会の齋藤委員長、業態進化委員会の中村委員長



サスティナブル委員会 髙橋理事から提案



左からグループディスカッションを前に挨拶する 熊谷副会長と地協・支部活動支援委員会 伊東委員長









支部活性化について 8 グループに分かれてディスカッションする皆さん



年賀状デザインコンテスト主催の 尾形委員長



年賀状デザインコンテスト受賞者 左から佐藤さん (日本アニメ・マンガ専門学校)、加藤さん (小野高速印刷株)、井上さんと古谷社長 (㈱インフォテック) 中央は岡本会長



来年の文化典高知大会へ誘う 坂本実行委員長



協議会一日目閉会の挨拶は 原田副会長



3年ぶりのリアル懇親会で乾杯する皆さん



協議会二日目の会場

10日の高知大会への意気込みを語りました。また、日本プリンティングアカデミーの広報担当の前田様が同校の活動を紹介しました。

懇親会には賛助会員も参加し、新入の日本アグフア・ ゲバルト様、J SPIRITS 様、ジェイエンタープライズ 様にご挨拶をいただきました。 二日目は、前日のグループディスカッションの内容を発表。AからHまでの各グループが支部活性化に向けた課題や取り組みについて報告。引き続き、地協報告で各地協の活動状況を情報共有し、久しぶりに濃密な2日間に及ぶ全国協議会を無事終えることができました。役員、支部長の皆様お疲れ様でした。



広報事業に関するアンケート調査 集計結果

ジャグラ⇒会員

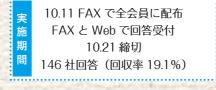
機関誌·メール·FAX

読まれるプッシュ媒体 ネット媒体は苦戦

公式HP・ジャグラBB

伝える情報に最適な媒体の選択と プッシュ媒体からネット媒体への誘導が今後の課題

ジャグラ広報委員会





ジャグラ広報委員会(神山明彦担当副会長/本村豪経委員長)は、本年度より機関誌『グラフィックサービス』、動画 サイト「ジャグラ BB」、公式 HP などの情報媒体を統括管理する組織として活動していますが、ジャグラからの情報がどの ようなルートで皆様に伝わり、それらがどのように活用されているかという実態を調査するため、10 月にアンケート調査 を行いましたので、その結果をご報告します。

ジャグラからの情報の活用状況(媒体別)

■機関誌

選択肢	件数	割合
だいたい読む	125	85.6%
たまに読む	15	10.3%
読むのは稀	5	3.4%
読んだことがない	1	0.7%
総件数	146	100.0%

■公式 HP

選択肢	件数	割合
定期的に見る	11	7.5%
たまに見る	52	35.6%
見るのは稀	68	46.6%
見たことがない	15	10.3%
総件数	146	100.0%

■ジャグラ BB

選択肢	件数	割合
定期的に見る	5	3.4%
たまに見る	52	35.6%
見るのは稀	69	47.3%
見たことがない	20	13.7%
総件数	146	100.0%

メール

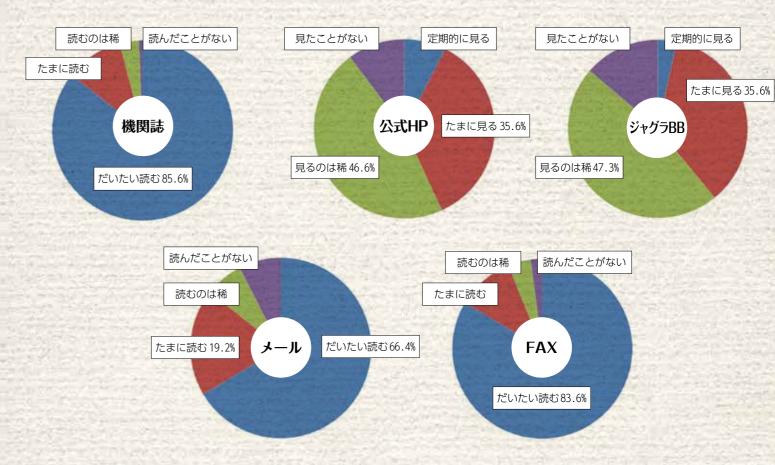
選択肢	件数	割合
だいたい読む	97	66.4%
たまに読む	28	19.2%
読むのは稀	10	6.8%
読んだことがない	11	7.5%
総件数	146	100.0%

FAX

選択肢	件数	割合
だいたい読む	122	83.6%
たまに読む	15	10.3%
読むのは稀	6	4.1%
読んだことがない	3	2.1%
総件数	146	100.0%

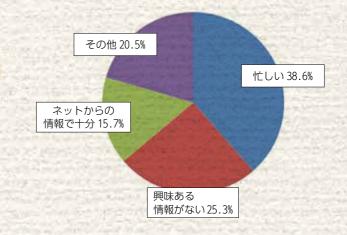
回答者の年齢層 選択肢 件数 割合 8.2% ~ 40 歳 41~50歳 32 21.9% 51~60歳 46 31.5% 61~70歳 31 21.2% 71 歳以上 21 14.4% 2.7% 不明 総件数 146 100.0%

ジャグラからの情報の活用状況(媒体別)



読まない・見ない理由 [該当者83社のみ]

選択肢	件数	割合
忙しい	32	38.6%
興味ある情報がない	21	25.3%
ネットからの情報収集で十分	13	15.7%
その他	17	20.5%
総件数	83	100.0%



■その他の主な内訳

【凡例】(媒体名) 読まない・見ない理由

- ① (公式 HP) 重要視していない。
- ② (公式 HP) 他の媒体で見ている。
- ③ (公式 HP) 知りませんでした。
- ④ (公式 HP) 必要な時は見る。
- ⑤ (公式 HP) 普段見ることがなく、何か調べたい時に見る程度です。
- ⑥ (公式 IP、ジャグラ BB) わざわざア クセスしないといけないので面倒。

- ⑦ (公式 HP、ジャグラ BB) プッシュしてほしい。
- ⑧ (公式 HP、ジャグラ BB) ネットが苦手。
- ⑨ (公式 IP、ジャグラ BB) 見るきっかけがない。メールに更新情報とリングがあれば見るきっかけになるのでは?
- ⑩ (公式 HP、ジャグラ BB) 見に行く習慣がない。
- ① (公式 HP、ジャグラ BB) 機関誌は回覧しているが、ネット情報は見るものが多すぎて選択肢に入りづらい。

- ② (ジャグラ BB) 見なければとは思い ますが、何故か見ておりません。
- ③ (ジャグラ BB) パソコンの前に座る のは短時間なので。
- ④ (ジャグラ BB) 情報の一貫性がジャグラ BB は劣るため。
- ⑤ (メール、FAX 情報) ある事を知らな かった。
- (b) (メール、FAX 情報) テキストが多く 読むのがだるい。

今年の機関誌で読んだ記事(1~9月号)【複数回答可】

	選択肢	件数	割合
	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	54	37.0%
	巻頭言	84	57.5%
定	業界の動き	106	72.6%
番	ジャグラ BB ホットニュース	51	34.9%
3	議事録	27	18.5%
	日誌とスケジュール	27	18.5%
連	需要創出を考える	76	52.1%
	我が社の自費出版事情	35	24.0%
載	版画と謄写とこれから	27	18.5%
	新春座談 [ジャグラが見据えるニューノーマル]	61	41.8%
企	電子帳簿保存法改正どうすれば?	38	26.0%
画	デジタル印刷機を活用した DX による生産性向_	Ł 76	52.1%
<u> </u>	page2022 見てある記	43	29.5%
9	ジャグラコンパクト DX 事業 4 委員会が本格始動	! 59	40.4%
=	ジャグラ作品展入賞作品決定	56	38.4%
구	年賀状コンテスト入賞作品を決定	69	47.3%
ス	ジャグラ文化典愛知大会大成功!	65	44.5%
	PrintNext2022 東京で開催	44	30.1%
	コロナ禍の影響についてのアンケート	69	47.3%
調	印刷会社の価格転嫁に関するアンケート	74	50.7%
查	デジタル印刷に関するアンケート	62	42.5%
	2022 年の業界展望	61	41.8%
	総件数	146	

掲載記事についての印象【複数回答可】

選択肢	件数	割合		
興味を引く内容が多	,U1		44	30.1%
興味を引く内容が少	ない		31	21.2%
ジャグラ&業界動向	が良く	わかる	100	68.5%
お知らせばかりで面	白くな	い	6	4.1%
その他			4	2.7%
未回答		70.4	4	2.7%
総件数			146	

■その他の意見

①どちらかと言うと東グラの機関誌の方を読む。

②懐古記事はおもしろくない。

③十分に楽しんでいます。

機関誌の仕様=発行回数 (月刊)、ページ数 (表 紙込 32 ページ、4C/1C)、文字サイズ、文章 量については、「適当=現状通りで十分」とい う回答が大半を占めました。

掲載を希望する記事(複数回答可)

		-	8,4000	
	選択肢	件数	割合	
	ジャグラ・業界動向	82	56.2%	2位
	会員企業の取組実績	95	65.1%	1位
	補助金・助成金等の情報	64	43.8%	3位
Ä	印刷技術向上のための情報	31	21.2%	
	経営革新に係る情報	55	37.7%	4位
	事業承継に係る情報	26	17.8%	
	青年部活動	31	21.2%	
	一般人にも読んでもらえるような内容	5	3.4%	SINGNE
	編集可能データがほしい	9	6.2%	
	その他	3	2.1%	
	未回答	2	1.4%	
	総件数	146	915	

■その他の意見

①もっと「人」にフォーカスを当てた記事があると、全国の皆様を身近 に感じられるだろう。

②地域性を生かした取組み等を掲載してほしい。

③全体的に変えてほしい。今の内容なら作るだけ無駄では?

機関誌の回覧状況

選択肢	件数	割合
経営者だけ	74	50.7%
全社に回覧	27	18.5%
必要部分のみ該当部署に回覧	30	20.5%
その他	12	8.2%
未回答	3	2.1%
総件数	146	100.0%

■その他

①経営者は必ず読んでいる。必要な部分 は該当部署にも回覧。 ②管理職に回覧。場合によっては該当部 署にも回覧。

③幹部に回覧×2件。

④経営者と営業 ⑤営業に回覧。

⑥全社員がいつでも読める場所に保管。

⑦誰もが読めるように新聞や雑誌と一緒 に並べている。

⑧食堂に置いて社員も読んでいる。

⑨来社したお客様も読める場所に置いて いる×4件

機関誌電子版の認知と活用状況

選択肢	件数	割合
知っており利用したことがある	15	10.3%
知っているが利用したことはない	74	50.7%
知らない	57	39.0%
未回答	0	0.0%
総件数	146	100.0%

QR コードスキャナ活用のススメ

機関誌では誌幅の制限もあるため、「詳細は 下記サイトで」と QR コードを掲載してネッ トの外部サイトに誘導することも多いのです が、余り活用されていないようです。「いち いちスマホを出すのが面倒」というのが大方 の理由でしょうが、そのような方はお使いの PC に「QR コードスキャナ」を接続してみて はいかがでしょう? Amazon 辺りで 2000 円~数千円程度と、比較的安価な製品もあり ます。一台あればジャグラBBへのアクセス もとても便利になりますよ!



自由記入コメント

【機関誌・記事・企画への要望】

①「創注」を実現した会社の記事をとに かく知りたいです。

②大都市圏と地方都市との乖離を感じま す。特に商圏から離れている地域、地 方都市の事情と、公共交通機関や車を 使っても1時間程度で大都市圏の商圏 に入れる地域との事業の進め方には異 なる部分を感じるので、未来志向的な 地方都市の中小印刷業の在り方につい ても掘り下げてもらえると有り難い。

③多方面、多角的なテーマ・取材が載っ ていると嬉しい。全体的に旧態依然と しており興味を引かない記事が多い。 内容・構成から刷新を望む。

④当社ではジャグラの情報を全社回覧し ており、各部門で活用しています。

⑤仲間の様子を知ることができるので楽 しく読んでいます。

⑥事務局便りが楽しみです。

【ジャグラ BB との連携強化の提案】

⑦ジャグラ BB のコンテンツ (支部長紹 介・会社見学の他人気動画)を機関誌

に掲載するのはどうでしょう? 支部 活動や自社のヒントになり「詳しくは ジャグラBBで」とジャグラBBの視聴 数アップにも繋がるかも。

⑧ジャグラ BB の内容を誌面に編集し直 して掲載してください。

【紙の方が良い・ネットは面倒】

⑨紙(媒体を読むのは)は苦ではないが、 ネットは意外と面倒くさい。

⑩冊子(印刷物)のほうが読みやすい。

⑪電子版があるのをはじめて知りまし た。表紙にQRとかつけたらどうでしょ うか?

②電子版 PDF を見開きではなく 1ページ 毎にしてくれると携帯で見やすい。

③デジタル化が進むなかで紙媒体の情報 誌が今後どうなるか心配です。

【メルマガ活用の提案】

⑭ジャグラ BB の新番組情報をメールで 送ってほしい。

⑤近年、週刊ダイアモンド社や東洋経済 社などが、メールマガジンを活用した 情報発信を強化しています。主要記事

のヘッドラインをメルマガで送り、リ ンク URL でオンライン記事へ誘導する 手法です。

⑩ジャグラ機関誌も、まずメルマガで[ど んな情報が提供されているか」を知ら せて電子版へ誘導するなどの手法が有 効ではないでしょうか。

【組織・活動】

⑦高知県支部の活動が愉快痛快

18全会員を青年部所属にしてほしい。

【激励】

⑨広報活動お疲れ様です。機関誌の発行 は毎月楽しみにしています。負荷が偏 らないよう、全体で一体となった広報 活動を期待しています。

20良い機関誌になるよう応援します。

②編集・発行ご苦労様です。これからも 継続宜しくお願いします。

②事務局の皆様の活躍にいつも感謝。

②毎月楽しみにしています

20年間が全国にいると感じられて嬉 しいです。業界全体を一緒に盛り上げ ていきましょう!!

アンケートへのご協力ありがとうございました

回答者プロフィール&回収率

回答者(=恐らく経営者)の年齢については50~60歳代が約半数という結果でしたが、過去のジャグラのアンケートと比較しても大差ありません。回収率については、配布から回収まで10日と短期間だったにも拘わらず、20%弱で関心の高さがうかがわれます。

ジャグラからの情報の活用状況

- ①本部から送るプッシュ媒体「機関誌」「メルマガ」「FAX」については、ほぼほぼ読まれているという結果でした。特に紙メディア「機関誌」「FAX」については80%超の高確率で目にしてもらっています。
- →「メルマガ」は 66% と若干数字が落ちますが、委員から 「FAX は間を置かずに社長の手元に届くのですぐ目を通 すが、メルマガは読むのが後回しになる」という意見が ありました。
- ②プッシュ媒体に比べ、会員にアクセスしてもらう必要がある「公式 HP」「ジャグラ BB」については、「見るのが稀」「見たことがない」が半数以上を占め、「定期的に見る」のは 10%以下と極めて低い結果でした。
- →「更新頻度」はアクセスに係わる要素の一つです。現状「公式 HP」は更新頻度が低いので、必要な時にアクセスするといった使い方でしょう。アーカイブ的に機能しているならそれはそれで悪くありませんが、情報発信媒体としてより一層の改善も必要です。「ジャグラ BB」については「公式 HP」に比較して更新頻度は高いものの、それでも半数以上に見られていません。更新頻度と視聴回数の相関は意外に弱いようです。
- → 「ジャグラ BB」については、「番組の質・レベル」もアクセスに係わる要素の一つですが、そこに問題があるとは思えません。印刷業者である委員が「このような番組が必要、見たい」と検討を重ねて作った番組であるからです。
- → 「ジャグラ BB」の番組の 1/3 程度は DTP オペレータ対象 (社員対象) の教育番組です。今回のアンケートの回答者のほとんどが経営者であることを考えると、実際の視聴率はもう少し高い可能性は考えられます。

読まない(見ない)理由

- ①「見るのは稀」「見ない」という回答が多数を占めたのは「公式 HP」と「ジャグラ BB」でした。
- ②理由の最多は「忙しい」でしたが、「忙しい」なかでも 機関誌などのプッシュ媒体は読まれています。前間の分

析から「更新頻度」「番組の質・レベル」が見ない理由 ではなさそうです。

- →「その他」のコメントに「わざわざアクセスするのが面倒、手間」という回答がありました。「非プッシュ媒体」 特有のハードルですが、恐らくこれが見られない理由の 一つでしょう。
- →現在、プッシュ媒体である機関誌を通じて(ジャグラ BB ホットニュース)、おすすめ番組を PR していますが、今以上に視聴のハードルを下げるような対策が必要でしょう。別設問のフリーコメントに「新番組情報をメルマガでプッシュして欲しい」という要望がありましたが、それはアクセスを促す一つの助けになるかもしれません。
- →委員会で「動画コンテンツは他の社員の手前、就業時間中には視聴しにくい」という意見がありましたが、これは「ジャグラ BB」開局当時から指摘されている古くて新しい根本的な問題です。開局当時にこの問題を議論した際、「週一回の全体ミーティングの時に、皆で見るようにしている」「支部会の時に皆で一緒に見ている」などの工夫策の披露がありました。
- →ミーティング用に、ダイジェスト版や短い尺のコンテン ツを整備するのも一つの手だと考えており、現在、その 検討を進めています。
- →きちんとした社員教育スケジュールを組んでいる大企業と違い、中小企業においては「OJT (オンザジョブトレーニング)」という形で知識やスキル向上を図ってきたのが実情です。そこら辺の改革から始めないと、なかなか持続的な視聴率向上には結びつかないかもしれません。中小企業にとってはそれはある意味、永遠の課題とも言えるでしょう。

■「読まれた記事」と「希望する(読みたい)記事」

- ①「希望する(読みたい)記事は?」という設問に対する回答の上位は、「会員企業の取組実績/65.1%」「ジャグラ・業界動向/56.2%」「補助金・助成金等の情報/43.8%」「経営革新に係る情報/37.7%」でした。実際に読まれた記事の上位は「業界の動き/72.6%」巻頭言/57.5%」「需要創出を考える/52.1%」「デジタル印刷機を活用したDXによる生産性向上/52.1%」であり、「希望する記事」の回答と一致しています。
- ②各種アンケートや業界展望などの「調査系記事」についても40~50%以上の割合で読まれています。これらの記事は以前より興味を持たれていると理解しています。
- ③「文化典」の記事についても半数近くに読まれており、根強い人気です。

→ SPACE-21 の活動記事なども含めて、「楽しく学んでいる ジャグラの姿」を伝え、団体への参加意欲や興味を刺激 することは重要だと考えています。一方で「議事録」に ついては予想通り余り読まれていないことも分かりまし たが、皆さんから集めた会費が、どのような議論を経て、 使い途を決めているという報告ですので、地味ではあり ますがこまめに掲載の必要があると考えています。

「記事の印象」と「機関誌の仕様」

- ①機関誌における「記事の印象」は、「ジャグラ&業界動向が良くわかる」という回答が 70% 近くを占めました。
- →発行頻度やページ数など「仕様」面に対する回答を含めて、編集方針を現状から大きく変える必要はないと考えていますが、「80%以上の方に読まれている=満足している」ではないことも認識しており、他の委員会とも連携しつつ、より一層、記事の充実に努めるつもりです。

機関誌の回覧状況と電子版の認識について

①機関誌の回覧状況については、「経営者のみ読んでいる」が半数、全社回覧も含めて4割の会員は必要に応じて回覧してもらっています。また、「公式HP」で公開している機関誌電子版(PDF)については、60%の会員にそ

の存在は知られているようです。

→現在、印刷業が直面している問題の解決にあたっては、 経営者のみならず全社挙げて取り組むべきと以前より指 摘されています。全社的な情報共有の一環として、紙媒 体よりいち早く公開される PDF 版の活用促進は今後も進 めるべき課題と考えています。

最後に

新しい体制になって半年、機関誌・ジャグラBBとも、毎月の発行や番組制作を進めながら改善策を探っている最中ですが、今回のアンケートでその方向性の一端を掴んだと感じています。これまで「読まれていない」と言われてきた機関誌が、かなりの確率で目にしてもらっているという結果を得ることができ、工夫次第でジャグラBBや公式HPなどへの誘導も不可能ではないと考えています。

確実に伝えるためには、迅速に伝えるためには、人材育成のためには等々、目的に応じた最適な媒体を駆使して、必要な情報を皆様方の元にお届けできるよう改善策をまとめてまいります。

具体的に目に見える改善は来年に入ってからになりますが、皆様からのご要望ご意見は随時受け付けておりますので、遠慮なくお気軽にお寄せください。



何故に"日本橋"小伝馬町?

東グラ文京支部・㈱アクティブの野口聡です。私はクイズを趣味の1つとして学生の頃より嗜んでおり、かつては大学の、現在は社会人のクイズサークルに所属して活動しています。そのことを本村広報委員長に知られ、「せっかくだから」とコラムを連載することになりました。

初回の題材を何にしようか思案しましたが、ジャグラの機関誌ですので、ならばジャグラ会館のある「小伝馬町」の話でもしようかと……。地図にも記載されていますが、会館の住所は東京都中央区「"日本橋"小伝馬町」となっていますよね。はて? 「なんで"日本橋"小伝馬町なんだろう。ただの小伝馬町ではなく"日本橋"が付いてるのは何故だろう?」。調べたところ「日本橋○○町」と云う地名は、兜町、浜町、馬喰町など中央区に20箇所もある



そうです。では何故そんなに"日本橋"という名前が冠として付いてるのでしょうか?

それは明治の時代まで遡ります。明治15年、時の政府により東京「市」に15の区が設定され、その中の1つとしてこの辺りを「日本橋区」とする事が決まりました。時は流れ昭和22年、当時35あった東京の区が再編成され、「日本橋区」とお隣の「京橋区」が合併して現在の「中央区」が誕生します。その際に、旧・日本橋区の住民からの要望でかつての日本橋区域の殆どの町名に"日本橋"と付けることになったそうです。現在でも市町村合併は多く行われていますが、地域全体にかつての名前を残すという処に地元の住民の"日本橋"への愛着と誇りを感じますよね!【今月のお題】 現在の47都道府県の名称のうち、日本神話の神様の名前を起源に持つのは何処でしょう?

(正解は 29ページ)



ジャグラが運営する、印刷業関連のセミナー、情報動画配信 サイトです。2006年の開局以来、印刷業の情報収集、人材 教育ツールとして多数の印刷会社に活用されています。

JagraBBで豊かな時間を

広報委員会が選ぶ

おすすめ番組ラインナップ!!



生産性向上のススメ ~JaGra compact DX 生産性向上委員会の取組経過報告を

次は…



いまさら聞けない!? 印刷業のDX基礎用語 7)MR基礎知識



MRの知識

((今回は… xR(VR·AR·MR)

カテゴリー 🔰 教育と技術 🔰 DX・総務経理・その他

0.5歩先の実践。時代を彩る印刷のチが

受性から創性へ、原立発起を作用するパートナーであれる。

いまさら聞けない!? いまさら聞けない!? 印刷業のDX基礎用語 印刷業のDX基礎用語 5)ARのしくみ 4) xR(VR.AR.MR)とは何か

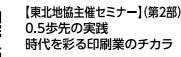
ARolla

VR用途・事例イメージ

激甚災害を越えて ジャグラ東北地方は隣会第62回総会・福島大会 記念セミナー第一部 2022年5月21日(土)14:00~

【東北地協主催セミナー】(第1部) 激甚災害を越えて ―災害と闘った歴史―











FUJIFILM

ZXで、工程が変わる。働き方が変わる。 無処理CTPは、いま、新たなステージへ。

FUJIFILM SUPERIA



より鮮明に、より早く、より強く。

定評ある有処理プレート『XP-F』と

同等の使いやすさと信頼性を、ついに無処理プレートで実現。

これまでの無処理化の次元を超える工程変革を実現し、

現場にも、経営者にも確かなメリットを提供する

次世代完全無処理プレート

SUPERIA ZX、誕生。



SUPERIA ZX Q

富士フイルム グローバル グラフィック システムス株式会社



印刷業のDX基礎用語 3) AI事例

次は…

いまさら聞けない!?

6)VRのしくみ

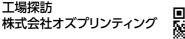
印刷業のDX基礎用語

▷最新情報はWEBをチェック

VRols

カテゴリー 🔰 教育と技術 🕻 DX・総務経







日印産連の環境優良工場表彰 応募受付中!

応募料無料・小規模事業所部門あり/第1次審査応募締切は2023年1月31日です

ジャグラなど印刷関連10団体で組織する(一社)日本 印刷産業連合会(以下、日印産連)は、毎年、環境に配慮 した印刷工場を「印刷産業環境優良工場」として表彰して おり、現在、第21回の応募受付中です。小規模事業所の 環境対応を促進するため、「一般事業所部門」「小規模事業 所部門」に分けて表彰します。応募料は無料ですので、ジャ グラ会員の皆様も奮ってご応募ください。

表彰対象

- ①日印産連の傘下団体の会員企業の工場であること。
- ②第2次審査募集開始月(2023年2月1日)の時点にお いて3年以上稼働していること。
- ③第2次審査募集開始月の時点から5か年以内に環境法令 等に基づき操業停止等の行政処分を受けていないこと。

表彰部門

- ①一般事業所部門=制限なし
- ②小規模事業所部門=応募事業所従業員規模 29 人以下か つ企業全体の従業員規模 49 人以下

表彰の種類と工場数

①経済産業大臣賞 両部門合わせて1工場程度

②経済産業省商務情報政策局長賞 両部門各1工場程度

③日印産連会長賞 両部門各2工場程度

④日印産連奨励賞 両部門合わせて10工場程度

⑤日印産連特別賞 推薦があった場合

◎表彰該当工場については、「9月印刷の月 記念式典」に

て賞状および記念品を授与します。



募集要項は日印産連のHPから https://www.ifpi.or.ip/topics/detail/id=5564

応募要項詳細

日印産連 HP より「印刷産業環境優良工場表彰応募要領」 「第1次審査用応募票」「第2次審査用応募票」をダウンロー ドしてご応募ください。

審査は第1次審査、第2次審査の2段階で行われ、提出 期間は下記の通りです。

①第1次審査 2022年11月18日~2023年1月31日 ②第2次審査 2023年 2月20日~2023年4月 7日



https://www.jagra.or.jp/school/

Horizon

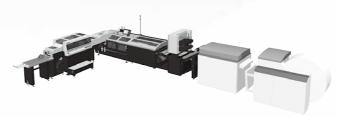
Change the focus

~ つながる Factory Automation ~

省人化・省力化を実現する先進的なシステムをご提案します。

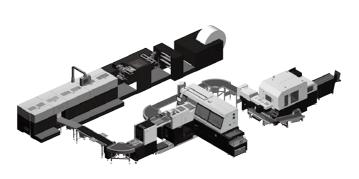
■ロール紙対応中綴じ製本システム iCE STITCHLINER Mark V

ロール紙の巻き出しスピードを落とさずに 最高 6.000 冊 / 時の高牛産性を実現



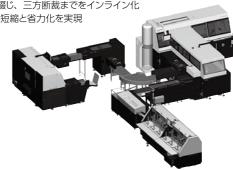
ロール紙対応無線綴じシステム

多品種・バリアブル生産における高い生産能力と安定した品質で 製本物の生産を効率化します



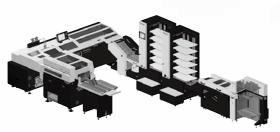
■ 極少・中ロット向け無線綴じシステム

折丁給紙、無線綴じ、三方断裁までをインライン化 セット替え時間の短縮と省力化を実現



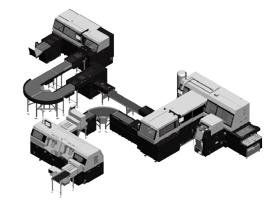
■ペラ丁合鞍掛け中綴じ製本システム iCE STITCHLINER Mark IV

多品種少量生産に対応するために 全自動化することでセット替えの時間を極限まで短縮



▮下固製本システム

本身に見返しを貼り付けと寒冷紗を使用した 上製本の下固工程の自動化を実現



■ 紙ファイルメーカー

脱プラスチックに貢献する 紙ファイル作製システムのご提案



fb.me/Horizon.sns

ホリゾン・ジャパン株式会社 www.horizon.co.jp

社 〒101-0031 東京都千代用区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F TEL.03-3863-5361(代) FAX.03-3863-5360

社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL,03-3652-7631(代) FAX,03-3652-8083

〒601-8206 京都府京都市南区久世大藪町510 TEL.075-933-3060(代) FAX.075-933-4025

〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092-626-8111(代) FAX.092-626-8112 仙台サービスセンター 〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東1-7-31 TEL.022-782-2821(代) FAX.022-782-3068

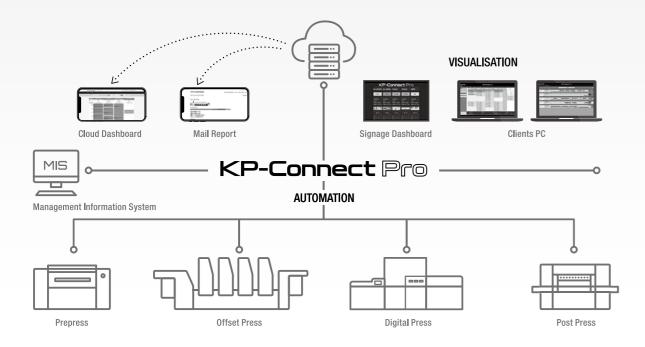






CONNECTED AUTOMATION

- 印刷DX 新しい世界への扉 -



「データの一元化」「見える化」「整流化」「自動化」



『KP-コネクトプロを軸に省人化・省力化技術を搭載した機械や生産システムをつなぐことで、お客様の生産性を極大化 していく』概念です。オープンな環境を提供することで、業界の様々なメーカー・ベンダーと連携、共創していきます。 高度な自動化機能を搭載した最新機リスロンGX/Gアドバンスモデルとの併用で、さらなる効果を発揮します。

MADE IN JAPAN WITH STATE-OF-THE-ART TECHNOLOGY







RICOH BUSINESS BOOSTER、始動。

2022年。リコージャパンは、新たな舵を切ります。

私たちは"仕事を創る"、"仕事を回す"、"仕事が見える"の3つの視点から、

印刷事業者のビジネス拡大をさらに支援するための活動

『RICOH BUSINESS BOOSTER』を開始します。

お客様ごとの課題に真摯に向き合い、

時には共創活動を通じて新たな事業を生み出しながら、

それぞれの解決策を導き出していきます。

印刷事業者の"真"のパートナーとして、

前例にとらわれない新たな答えを創りだす。

リコージャパンの、次なる挑戦がはじまります。

職長等の安全衛生教育が義務化

来年4月から製本・印刷物加工業が対象業種に

令和5年4月1日より安全衛生教育の対象業種に「新聞業、出版業、製本業及び印刷物加工業」が追加されます。 該当職種の会社では、従業員規模に拘らず、職長等の安全衛生教育が義務化されます。

X

労働安全衛生法施行令の改正により「新聞業、出版業、 製本業及び印刷物加工業」が新たに安全衛生教育の対象に 加わりました。

【追加業種】令和4年2月24日公布・令和5年4月1日施行 食品製造業(うま味調味料製造業及び動植物油脂製造業 を除く)、新聞業、出版業、製本業及び印刷加工業。

労働安全衛生法第60条では、労働安全衛生法施行令第19条で定める業種で新たに職務に就くことになった職長、その他現場で直接労働者を指導・監督する者に対して、計12時間以上の安全衛生教育の実施を義務付けています。

ここでいう職長とは、事業場によっては監督、班長等様々な名称で呼ばれ、いわば仕事を行う上で現場において指揮、命令をする人となります。 役職は関係なく、経営者と従業員が2名等の少人数の事業所では、経営者本人が職長に該当するケースも発生します。

職長等に対する教育(計 12 時間)

- ①作業方法の決定及び労働者の配置に関すること。
- ②労働者に対する指導又は監督の方法に関すること。
- ③リスクアセスメントの実施に関すること。
- ④異常時等における措置に関すること。
- ⑤その他現場監督者として行うべき労働災害防止活動に関すること。



- ◎安全衛生教育を実施せずに労働災害や、労働基準監督署の監 査が行われた場合、行政処分を受ける可能性があります。
- ○職長教育は中央労働災害防止協会の各地区の安全サービスセンター、その他団体で2日間(計12時間)にわたり開催しています。
- ◎職長教育の開催について、または自社が対象業種か不明確な

場合は各地区の中央労働災害防止協会の 安全サービスセンターにお問い合わせ、 またはホームページをご確認ください。 (https://www.jisha.or.jp)







Morisawa Fonts









TOKYO QUALITY.

すべてのSPコミュニケーションに最良の品質を。

ユーザーサポート こそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の < 昭和謄写堂 > として、昭和3年に幅弓之助が創業しました。

創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固な までにこだわり続け、そのこだわりは創業から 100 年に向けて今なおショーワの 社員一人一人に DNA として脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せて頂けるのも、企業理念に もあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だから こそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる 知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと 考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い 志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

21世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション&リサーチ ユーザー会で密に情報交換

○研修会 ○工場見学 ○総会・幹事会

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで

SHOWA会事務局 TEL,03-3263-6141 FAX,03-3263-6149



プリントメディアの総合商社

http://www.showa-corp.jp/

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2 丁目 7 番 8 号 TEL 03-3263-6141(代) FAX 03-3263-6149



東京リスマチック株式会社

プリントデスク 00120-269-132 平日(月~金) 9:00~17:00 E-mail: support@lithmatic.co.jp





競え、プロの技。

ジャグラ作品展 募集開始!

『ジャグラ作品展』は、グラフィックサービス工業の技術力向上やマーケットへのアピールを目的として 開催するもので、ジャグラの前身である日本軽印刷工業会が社団法人を設立した 1966 年より開催され ている歴史あるコンクールです。皆様奮ってご応募ください。



公式HPよりダウン ロードできます



出版印刷物

単行本、文芸書、教科書、学術参考 書、専門書、法規集、写真集、雑誌、 ハンドブック、自費出版、定期刊行 物、復刻版など。

いわゆる出版物と言われる印刷

多伝印刷物

カタログ類、ポスター、ダイレク トメール、リーフレット、チラシ、 POP、パンフレット、カレンダー、PR 誌、各種案内書など。

宣伝的要素の強い印刷物で、主と

してカラー印刷物や凝った印刷物。

審査日程(予定)

●第一次審査 2023 年 4 月上旬 **第二次審査** 2023 年 4 月上旬 ※審査員はコンクール委員&学識経験者

●最終審査 2023年4月中旬

※審査員は、経済産業省、厚生労働省、全国中小企業団体中央会、 日本印刷産業連合会、日本印刷技術協会、日本印刷機材協議会、 日本プリンティングアカデミー、業界紙各社、学識経験者、コ ンクール委員長を予定。

●審査方法 審査基準に基づいて採点し、順位を決定。

A 企画:企画の視点・狙い

B 編集:全体の構成、取材・執筆等

C 造本設計:製本、書籍全体のデザイン、用紙選択等

D 文字組版:難易度が高い、禁則ルール等

E 印刷の仕上がり:オフセット印刷、デジタル印刷、その他

F 開発・開拓: 開発・開拓の視点、狙い等

G その他

優秀作品への各賞

経済産業大臣賞(2点)、経済産業省商務情報政策局長賞(2点)、 厚生労働大臣賞(2点)、厚生労働省人材開発統括官賞(2点)、全 国中小企業団体中央会会長賞(4点)、そのほか、日本印刷産業連合 会会長賞、日本印刷技術協会会長賞、日本印刷機材協議会会長賞、 日本プリンティングアカデミー学校長賞、報道各社賞、ジャグラ会長 賞ほかを予定。(大臣賞に賞金3万円を授与)

業務用印刷物

研究報告書、文集、記念誌、機関 誌、便覧、手引書、名簿、会議資料、 大会等資料、会報、年報、リスト、 パーソナルユース(年賀状、レター ヘッド、ハガキ、名刺)など。

本業界が主流としてきた印刷物。 また、商業印刷物のうち、モノクロ 印刷物も含む。

作品・サービスなど。

応募方法・申込書

応募作品に申込書を添えて、ジャグラ本部までご送付ください。

■ 応募期間 ■

- 主 催 一般社団法人日本グラフィックサービス工業会
- 主 管 ジャグラ作品展委員会 (黒沢康憲委員長)
- ●後援(前回実績)経済産業省、厚生労働省、全国中小企業団体 中央会、一般社団法人日本印刷産業連合会、公益社団法 人日本印刷技術協会、日本印刷機材協議会、学校法人日 本プリンティングアカデミー、業界報道関係各社ほか

新商品、新機器・新手法・新技法に よる作品、販促成功例、活路開拓・ 需要拡大商品、未来ビジネスへの 足掛かり商品、自社企画による印 刷物、印刷物以外の商品、間接的に 生産された印刷物、ソフト・サービ スCD-ROM等のマルチメディア。

拡印刷を目指す技術・商品の開発・ 新技術の開発、営業要素が強い

送料は応募社負担となります。申込書(Word 文書)はジャグラ HP よりダウンロードしてください。

■審査対象■

2022年中に完成した作品

■発 表■

ジャグラHPおよび本誌6月号

■表彰式■

2023年6月10日● 文化典高知大会 記念式典席上

た薬でいただいた個人情報は、日本自審出版文化賞応薬の登録、ホームページ登録と文化賞に関するお知らせ及び主管団体NPO法人日本自審出版ネットワークからのお知らせ以外には利用いたしませ 一般社団法人日本グラフィックサービス工業会 ■主管/NPO法人 日本自費出版ネットワーク朝日新聞社、一般社団法人日本印刷産業連合会、公益社団法人日本図書館協会、日本自分史学会、関東複写センター協同組合、様小学館スクウェア/富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ族、リョービ州HIグラフィックテクノロジー族、ホリゾン・ジャバン族、殊ショーワ、コニカミノルタジャバン族、様大塚商会、大東化工株

申し込み先

日~2023年3月3日

一クのホームページで発表

賞状ならびに賞金5万円 賞状ならびに賞金20万円

田池野藤林山田



japa

ジャグラの一年を振返って

ジャグラ専務理事 田中良平

・グラ会員をはじめ、本誌読者の皆様、まずはこの 一年、会の活動に多大なるご理解、ご協力、ご支援 を賜り、誌面にて御礼申し上げます。

年初は新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)が落ち着きを見せ、久しぶりに帰省される方や初詣に出かける人が増えましたが、安穏とした日もあっという間で、再び感染が拡大しました。感染者数は過去最高を日々更新し、まん延防止等重点措置が各地で適用され、再稼働を始めた日本経済に水を差しました。

そのような中、2月に北京で冬季オリンピックが開催され、日本代表選手の活躍が明るい話題を提供してくれました。しかし、2月に入るとロシアによるウクライナ侵攻が世界情勢に影を落とし、原燃料調達等の問題がコロナで疲弊した世界経済にさらなる打撃を与えています。この一年を見てもこのほかに、13年振りの日本映画のアカデミー国際長編映画賞受賞、改正民法による成年年齢の引き下げ、衆議院議員選挙、急速な円安による24年振りの市場介入等々、国内ニュースを振り返るだけでもキリがありませんのでこの辺で切り上げさせていただき、私個人の一年を振り返りたいと思います。

まだまだ会員の皆様へのご挨拶が不十分ではございますが、今年6月に開催されましたジャグラ文化典愛知大会総会ならびに第一回理事会にて、沖敬三前専務から専務理事という大役を引き継がせていただきました。当然経験も人格も遠く及びません。

昨年 10 月から理事・常務理事と、この間、段階的にジャグラの仕事について学ばせていただいてきましたが、まだまだ勉強の真っ最中です。役職としての専務理事は引き継がせていただきましたが、一日も早く皆様に「少しは役に立ちそうだ」と認めていただけるよう精進を重ねているところです。

私自身、印刷業界の記者として約 11 年強、ジャグラの活動を見てきましたが、外で見ているのと中で運営することの違いは大きく、そのギャップに四苦八苦しております。日々、事務局の皆さんの知恵や経験に助けられながらですが、10 年、20 年先のジャグラを見据えていければと考えております。

印刷業界に目を向けると、資機材、エネルギーコスト等

の高騰が会社の利益率を圧迫し、 官公需取引の再生紙調達の難 航、イベントの縮小・中止、非 接触社会によるデジタル化の進 展がもたらした消費行動の変化、 SDGs を柱としたエシカル消費 等、従来型のビジネスモデルが 需要構造の大変革と共に転換期 を迎えています。



▲ 員の皆様に役立つ組織で

本 あるため、そして中小印刷業を社会に必要とされる 業界として存続させるべく、今期より岡本会長は「絆をカタチに 今こそグラフィックサービス業に転換しよう」というスローガンを掲げ、ジャグラコンパクト DX を中心に新たな事業体制をスタートしました。

生産性向上委員会、MIS 研究委員会、地域活性化委員会、 業態進化委員会の4つの委員会の共通キーワードは"創注"です。1985年以降、DTP、CTP、デジタル印刷機と少しずつ生産工程におけるデジタル技術の台頭が進んできましたが、商売の在り方もデジタルを取り込む段階にまで差し掛かっています。

極端な直近のニュースを挙げると、商品を見てもらうだけで購入はECサイトに誘導するショールーミングストアが脚光を浴びています。リアル店舗でありながら、デジタルに誘導する新しい商習慣がそこにはあります。ジャグラコンパクトDXは、会員規模での生産工程の自働化、そして受注案件の単品損益管理を通じて経営基盤を整え、地域活性化委員会や業態進化委員会が提供する武器(ツール)を手に各社各様に新しい仕事のカタチを造り上げていただきたいとの想いがそこにはあります。

各委員会は月1回、会議を開き、ターゲット・目標の設定から目指すべきゴール、そしてそのための道筋を、この半年でまとめてきました。来年は会員の皆様への発信とトライアルが始まります。どうぞご期待ください。

(国力を) 後になりますが、拙い長文で失礼いたしました。この一年を無事終えることができたのも全てジャグラに関わる皆様のおかげと感謝申し上げて、私からの一年の振り返りとさせていただきます。



ジャグラ

10.26 椿山荘の 60 周年記念式典に 190 人が参加記念講演会やアトラクションも好評

東京グラフィックス

東京グラフィックサービス工業会(ジャグラ東京地協) は 10月 26日、東京都文京区のホテル椿山荘 TOKYO で創立 60周年記念式典を開催しました。

×

記念式典は冒頭、原田大輔会長(ジャグラ副会長)の挨拶で始まり、来賓の東京都産業労働局、東京都中小企業団体中央会の祝辞に続いて、東京都産業労働局長感謝状が笹岡誠さん(侑ドゥ・プラン)に授与されました。また、原田会長から感謝状が過去10年間の退任役員らに贈られました。

記念講演会では、プロゴルファーでゴルフ解説者である タケ小山さんが、「世界のゴルフとスポーツビジネス」と いうテーマで講演。ゴルフ関連の話題を独特の切り口で展 開しました。

懇親会は、60周年記念式典・懇親会の大瀧実行委員長が開会を宣言し、原田会長挨拶の後、日本印刷産業連合会の小澤専務理事より祝辞を賜り、ジャグラ岡本会長の乾杯の発声で開宴。アトラクションでは、ウクライナの民族楽器・バンドゥーラ奏者のカテリーナさんが登場し、楽曲を披露。アンコールに応えて「翼をください」を奏でると、拍手喝采で会場を湧き立たせました。

宴もたけなわで東京グラフィックスの4人の副会長が登 壇して三本で中締めしました。



原田会長(中央)と表彰者の皆さん 左から山手さん、林さん、谷口さん、菅野さん、笹岡さん





バンドゥーラ奏者のカテリーナさん

ゴルフ解説者のタケ小山さん



ジャグラ

10.15~16 関東地協千葉大会を開催 リアル開催で60名強が参加

関東地方協議会

関東地方協議会(中島博会長)は10月15~16日の2 日間、千葉市の京成ホテルミラマーレをメイン会場に、第 50回関東地協千葉大会を開催しました。

同大会は昨年10月に開催予定でしたが、コロナ禍の影 響により延期されていたものです。

大会1日目は京成ホテルミラマーレにて総会を開催。冒 頭、主催者を代表して尾形文貴関東地協前会長(延期のた め改選) が挨拶を述べ、続いて岡本ジャグラ会長が来賓を 代表して祝辞を贈りました。議事は本部役員の派遣等に関 して活発な意見が交わされ、今後の検討課題も残しつつ、 滞りなく、議題を原案通り承認しました。

お待ちかねの懇親会には、関地協会員に加えて東京地協 のメンバーも参加。宴の途中では、ハワイアンシンガーの KaPilina Sin とフラオラカによるハワイアンダンスが披 露され、会場が大いに賑わいました。懇親会後は会場を移 してカラオケなどでさらに盛り上がりつつ、ジャグラ会員 の旧交を温めました。

翌日はオプショナルバスツアーが実施され、鋸山を散策 し、保田漁港ばんやで昼食を取った後、海ほたるで買い物 を楽しんで解散となりました。

今回、コロナ禍で難しい判断が迫られる中、リアル開催 を実現された千葉県支部の皆様に敬意を表します。



関東地協千葉大会にて 左下枠内は尾形関東地協前会長



2日目のバスツアー 海ほたるにて

■ミニ情報 年末年始の忘年会・新年会予定

福島県支部 / 12月7日・摺上亭 大鳥、日印産連 / 1月6日・The Okura Tokyo、北海道地協(合同) / 1月10日・札幌グラ ンドホテル、大阪府支部/1月12日・ウェスティンホテル大阪、東京グラフィックス/1月16日・東天紅、愛知県支部/1月 19日、**岩手県支部(合同)** / 1月20日、**北陸地協** / 1月21日・ホテル小川、**中国地協** / 1月21日・広島市内、**神奈川県支** 部/1月27日

【書籍紹介】JAGAT刊『印刷白書 2022』

(公社) 日本印刷技術協会 (JAGAT) は、このほど『印刷 白書 2022』を発刊した。印刷産業の現在とこれからを知 るために必携の書。

■内容

①第1章 Keynote 印刷会社の造注・創注戦略

印刷産業の経営課題

②第2章 印刷産業の動向 印刷トレンド ③第3章 ④第4章 関連産業の動向

⑤第5章 ⑥巻末資料 ■体 裁 A4 判 128 ページ

■定 価 9900円(税込) ※ JAGAT 会員価格あり

■詳細&購入

○ Amazon 書店

O JAGAT Book Store

https://www.jagat.or.jp/cat10/cat10-4





印刷白書 2022

ジャグラ

3年振りのリアル開催 日本自費出版文化賞表彰式を実施

日本自費出版文化賞

ジャグラ主催、日本自費出版ネットワーク主管による 第25回日本自費出版文化賞の表彰式が11月12日、アル カディア市ヶ谷で開催されました。

リアルな表彰式は、コロナ以降、3年振りの開催となり ました。表彰式では、主催者を代表して岡本ジャグラ会長 が挨拶した後、「There I sense something」で大賞を受賞 した寺内ユミさん(グラフィック部門)をはじめ、部門賞、 特別賞などの受賞者に表彰状が鎌田慧審査委員長ら審査委 員から授与されました。

その後、恒例の受賞者スピーチが行われ、それぞれの作 品に込める想いや制作の経緯などが語られ、作者の熱気を 生で感じ取ることができました。

また当日は、自費出版アドバイザーの認定式が行われた ほか、会場では「2022日本自費出版フェスティバル」と して、受賞作品の即売会や自費出版の相談窓口が設けられ、 一部作品が売り切れとなる盛況ぶりを見せました。



左から、岡本ジャグラ会長、秋林委員、藤野委員、鎌田委員長、 大賞受賞の寺内さん、小池委員、中山代表、佐藤委員

短信

製紙各社が再度の値上げ 12月から来年2月にかけて15%以上の値上げ

印刷用紙が再度の値上げとなります。今年、既に価格改 定が相次いだ印刷用紙ですが、10月以降、製紙各社が12 月以降に再度の値上げに踏み切ると発表しました。ニュー スリリースは各社 HP にて PDF を入手できます。

◎三菱製紙

12月1日出荷分から印刷・情報用紙の価格を改定します。 同社の印刷・情報用紙事業は昨年11月と今年6月に価格改定 を行いましたが、その後も原燃料価格の上昇や円安の進行等に よるコスト急騰に対して収益確保が困難になったことから、再 度価格を改定することになりました。

対象製品は、印刷用紙全般(上質紙、塗工紙、微塗工紙、他)、 情報用紙全般(ノーカーボン紙、感熱紙、PPC 用紙、フォーム用紙、 他)、白板紙全般(高級板紙、特殊板紙、他)。改定幅(輸送調 整金制度含む) はいずれも現行価格+15%以上。

◎北越コーポレーション

来年1月21日出荷分から、印刷・情報用紙の価格を改定し ます。世界情勢リスクや急激な円安進行等による燃料価格の高 騰や物流経費の増大を理由に挙げています。値上げ幅は現行製 品価格の15%以上。

◎大王製紙

来年1月23日出荷分から、印刷・情報用紙の価格を改定し ます。同社は6月に製品価格改定を公表しましたが、製造コス トの上昇を理由に今回、再度、価格を改定します。対象品種 は、印刷用紙と情報用紙全般。改定幅はいずれも現行価格から 15%以上。

◎日本製紙

来年2月1日出荷分から印刷・情報用紙の価格を改定します。 同社は今年6月公表の価格改定以降も原燃料価格が高騰し、円 安が急速に進んだことによるコストアップを理由に挙げていま す。対象品種は、印刷用紙全般、情報用紙全般。値上げ幅は、 いずれも 15%~ 25%。

【書籍紹介】グラフィック社刊 「紙の温度」が出会った『世界の紙と日本の和紙』

名古屋市にある紙の専門店「紙の温度」。日本と世界の手 仕事紙を数多く扱う世界でも類を見ない「紙の聖地」。そ んな同社が出会ってきた魅力溢れる紙を、美しい写真と 緻密な文章で紹介した書。

■内容

①はじめに、②世界の紙、③コラム「紙のことならなん でも教えてくれる人 植物を愛する宍倉佐敏さんのこと」、 ④日本の和紙、⑤おわりに

■体 裁 A5 判 192 ページ **■定 価** 2530円(税込)

■詳細&購入

◎同社 HP 参照のこと





印刷需要が低迷し、価格競争が激化する経営環境の中で、ジャグラ会員企業はどのようにして活路を見出そうとしているのかを探るシリーズ。今回は令和3年度ジャグラ作品展受賞企業の中から、福島県支部の陽光社印刷㈱ さんの事例をご紹介します。

令和3年度

野型 ジャグラ作品展/業務用印刷物部門 厚生労働省人材開発統括官賞 『Shock of Dali』展図録

原画に忠実な印刷、その技術の継承と妥協しない仕事~クライアントの拘りに応えて~

陽光社印刷㈱(福島) 制作部部長 安斎信也

原画に忠実な印刷物を目指して

このたび令和3年度ジャグラ作品展・業務用印刷物部門におきまして「厚生労働省人材開発統括官賞」をいただきました。ジャグラ作品展での入賞は9回目となりますが、今回の賞は顧客の印刷物への価値観や社内での生産プロセスが形を変える中、技術の継承という難題に取り組んだ結果が評価されたものと大変光栄に感じております。

受賞作品はサルバドール・ダリの作品約340点を所蔵し「ダリの美術館」として知られる諸橋近代美術館が特別協力し、主催の三重県立美術館で令和3年1~3月、諸橋近代美術館で4~6月に開催された「Shock of Daliーサルバドール・ダリと日本の前衛」展の図録で、諸橋近代美術館より制作依頼を受けたものです。

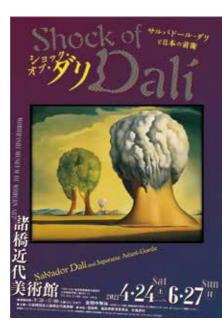
福島県北塩原村にある諸橋近代美術館から仕事をいただけるようになったのは平成30年頃からです。弊社は福島県立美術館や福島県柳津町にある斎藤清美術館など数々の美術館と長年お取引をさせていただいており、美術館関係の仕事には実績がありました。それでも一般商業印刷における「美しい印刷」とは違い「原画に忠実な印刷」を今まで取引の無い美術館に評価していただけるまでには様々な苦労がありました。

+αの品質と先行したデータ作成

高品質を求める顧客、特に美術館の学芸員に対して自社の実績をPR しようとしても、例えば会社案内や当社カレンダー、ジャグラ作品展受賞のチラシ等を提示しただけでは見向きもされません。

5年ほど前に美術館関係の仕事を増やしたいということ

で近隣市町村の美術館を廻り、それぞれの美術館の展示物 や販促物、図録の品質を調査し、その美術館が求めている ものや足りないものを見定め提案していくことから始めま した。その中の一つが諸橋近代美術館です。この美術館は 福島県随一の観光地である裏磐梯にあり、風光明媚である 反面、豪雪地帯ということで11月初旬から4月中旬頃ま では休館となります。その休館の間、郡山市にある事務所 に出向きプレゼンを申し出たところ、学芸員の担当者より 油彩の作品の画像データを渡されました。これは弊社の品 質が試されているなと感じ、その画像データを使い印刷し た校正紙を持って何度も休館中の美術館へ出向き、原画を 見て確認作業を繰り返したうえで、最終校正紙を持参して 色校プレゼンを行いました。原画と本紙校正の違いを判断 し補正すること、データと印刷の色合わせ等々について説 明。後日、企画展ポスターを依頼したい旨連絡がありまし た。



諸橋近代美術館での展覧会ポスター

嬉しかったのは印刷物の品質より、何度も確認作業をするという「妥協しない仕事」が+αの品質として評価していただけたことです。その後ポスター・チラシ・チケットの仕事をいただけるようになり、暫くして思ったより早く企画展の図録をお願いしたいというお話をいただきました。ただ図録作成時には作品が5点ほどしか事前確認できないとのことで、原画に忠実な印刷を目指す弊社にとっては困った状況でした。

そこで考えたのは「継続して仕事をいただくためには?」 ということで、確認できる作品以外は簡易校正で進めて納 品し、その後企画展が開催された時に美術館に赴き原画を 見て図録に使ったデータの色補正を行いました。そのデー タは成果物ではないですが、次回以降の仕事で使えるとい うことで、より信頼していただけることとなりました。

暗黙知の継承

印刷において原画に忠実な表現をすることは単純に作品 と色を合わせることだけではなく、作品の持つ力強さや表 現力を損なうことなく印刷で表現するということであり、

ざくためには?」 ぎが問題となりました。もちろん定年後も雇用継続しても校正で進めて納 らえればという考えもありましたが、それは問題を先送り館に赴き原画を するだけでしょう。原画と本紙校正の違いが判断でき、どした。そのデー のようにデータを補正すれば原画に近づけることができる事で使えるとい か解るとか、印刷した時の色の違いが判断できる能力は、なりました。 単純に数値化できるものではなく、経験からくる一般的に「暗黙知」と言われるものです。そして印刷業において暗黙知の継承は非常に難しいとも言われています。ただシンプルに考えれば熟練者と継承者の判断基準が同じになれば

いかと考えました。

そのためには作品そのものを観る目と印刷物を見る目を兼

ね備えた「人の眼」が必要です。元来、美術館関係の仕事

を手掛けることができたのはそういう人材がいたお陰です

が、印刷の仕事は色補正や濃度の管理など熟練者の経験に

平成30年度ジャグラ作品展において厚生労働大臣賞を

受賞した時、それまで美術館関係や他の高品質な仕事に関

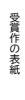
わってきた熟練者の定年が近づいたことから、業務の引継

いいわけで、つまり両者のスキルを比較し過不足の状況を

把握できれば判断基準を同じにすることができるのではな

裏打ちされた技能に頼る部分が多く、弊社も同様です。

Shock of Their ways the same of the same o







原画に忠実な印刷での表現

Service of the servic

製本でも苦労したクライアント拘りの黒

クライアントの拘りに苦労

実は諸橋近代美術館から初めて図録の仕事をいただいた 時に、納品後本文中に小さな点のような汚れがあるとのク レームがあり、調べたところ 1000 部のうち 200 部弱に指 摘されなければ解らない程度の小さな点が付いていまし た。「美術館としての売り物だから全品チェックしてあた りまえ」と聞いて、それまでの許容範囲を極端に狭め納品 前に全品を徹底して検査する体制にしましたが、製本まで の日程を短縮せざるを得なくなりました。

諸橋近代美術館に限らず美術館の担当者は印刷物の色だ けではなくデザインから製本まで拘りがあります。例えば 今回受賞した『Shock of Dali』展図録では扉の部分に黒 ベタが多用されており、印刷と製本ではかなり神経を使い ました。色校正においては原画と本紙校正を照らし合わせ て修正を加えますが、全体の色味から細かい部分までの調 整に苦労しました。例えば同じ赤系の色でも部分的に調整 量が違うため、その部分を選択して別々に調整するなど、 弊社が実績を重ねていくにつれ要求がより厳しくなってき たように感じます。美術館の担当者にしてみれば「印刷で どこまで色を合わせることが可能なのか?」という興味も あったようで、要求が厳しくなるということは弊社の技能 が一段上がったと捉えるべきでしょうが、苦労も一段上 がってしまいました。

これからの取組み

弊社は昭和25年に創業して以来「美しい印刷を通して 地域に貢献する」ために世の中のシステムの変化に対応し つつ日々研鑽を重ね多くの実績と信頼を積み上げてきまし た。そして情報のデジタル化が大幅に加速しこれまでの価 値観では顧客ニーズに対応できなくなるという危機感から 「New Qualityの世界へ」というアイデンティティ・コン セプトを20数年前から掲げています。これは単なる印刷 物の物理的クォリティのみならず生産に携わる社員の技 術・能力などの人的クォリティ、生産設備やシステムなど の生産環境クォリティを三位一体として「新しい品質 (New Quality)」と位置づけているものです。

印刷会社への要求は小ロット物と高品質との二極化か ら、デジタル印刷機を駆使し販促物等新たな営業品目を加 える多品種化となり、現在は Web や映像など印刷物以外の コンテンツも取り扱う多様化と、ごく短いスパンで変化し てきました。そういう変化の中で弊社は時代の流れから外 れないことに精一杯ではありますが、印刷の全工程におい て「妥協しない仕事」をしていくことで新しい品質や技術 の継承を実現し、弊社でなければできない品質に磨きをか け続けることが需要創出に繋がるのではないかと考えてお ります。

業界を取り巻く情勢はコロナ禍によりますます厳しさを 増していますが、今後も努力を惜しまず社員一丸となって 技術の研鑽に力を注いでまいりたいと思います。



昭和30年代半ば頃 創業は多くのジャグラ会員と同じ 謄写印刷業である



No.853

11 月の事務局日誌

- 1日 高知大会打ち合わせ→岡本会長・田中専務
- 2日 東京グラフィックス理事会(本部)→田中専務
- 8日 広報委員会 (Web 会議)
- 9日 ジャグラニュース収録 (飯田橋)
- 10 日 MIS 研究委員会 (本部)、業態進化委員会 (Web 会議)
- 11日 理事会、全国協議会(~12日/東京ドームホテル)
- 12 日 自費出版文化賞表彰式 (アルカディア市ヶ谷) →岡本会長・田中専務
- 14日 日印産連知財部会→田中専務、SPACE-21 幹事会(Web 会議)
- 16 日 生産性向上委員会 (Web 会議)
- 17日 プライバシーマーク審査会(本部)
- 18日 近畿地協総会、全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会50周年(上野精養軒)
- 21日 日印産連ステアリング・コミッティ(日本印刷会館 + Web 会議) →田中専務、サスティ ナブル委員会 (Web 会議)、プライバシーマーク現地審査 (大阪)
- 22日 プライバシーマーク現地審査 (大阪)、日印産連地方創生部会 (日本印刷会館 + Web 会議)→田中専務、ジャグラコンテスト専門委員会議(神田会議室+ Web 会議)
- 24日 ジャグラニュース収録 (飯田橋)、IGAS2022 (~28日まで/東京ビッグサイト)
- 29日 ジャグラコンテスト委員会 (Web 会議)

12月のスケジュール

- 2日 地域活性化委員会 (大分)、正副会長会議 (Web 会議)
- 5日 プライバシーマーク現地審査 (大分)
- 6日 作品展委員会 (Web 会議)、広報委員会 (Web 会議)
- 7日 MIS 研究委員会 (Web 会議)
- 8日 業態進化委員会 (Web 会議)
- 12日 生産性向上委員会(本部)
- 15日 プライバシーマーク審査会(本部)
- 20 日 日印産連知財部会(日本印刷会館 + Web 会議) →田中専務、プライバシーマーク現地 審査(福岡)
- 21日 ジャグラニュース収録 (飯田橋)
- 22 日 委員長会議 (Web 会議)

1月のスケジュール

- 6日 理事会(本部+Web会議)、日印産連新年交歓会(オークラ)
- 16日 東京グラフィックス新年会(東天紅)
- 25日 東京グラフィックス理事会(本部)→田中専務
- 26日 日印産連ステアリングコミッティ(日本印刷会館 or Web) →田中専務
- 27 日 神奈川県支部新年会→岡本会長・田中専務

■本部事務局 年末年始休業のお知らせ

ジャグラ本部事務局は、2022年12月30日から2023年1月4日まで休業いたします。会 員の皆様にはご不便おかけいたしますが、ご了承のほどよろしくお願いいたします。

退職のご挨拶

この度、令和5年1月20日をもちまして退職することになりました。 昭和56年10月にジャグラ事務局に入局し、退職金共済事業団の仕事を 担当。約30億円の経理・資産運用等、貴重な経験をさせていただきまし た。事業団解散後はジャグラ本体の経理・総務・会館運営を担当しました。 ジャグラは昭和59年に会館を取得しましたが、購入額10億5千万円の うち7億円が借入金で、会館運営はかなり厳しいものでした。テナント 入居を維持し、低金利の金融機関への借換えをして返済は順調に進み、



本年8月29日の完済まで見届ける事ができました。在職中は、会員の皆様に大変お世話に なりました。厚く御礼申し上げます。ジャグラでの経験を活かして、これからの人生を歩ん でいきたいと思っております。

本部事務局 長島安雄

月刊『グラフィックサービス』 853 号

- 発行日 令和 4 年 12 月 10 日 (毎月 1 回)
- **発行人** 岡本 泰
- ■編集人 本村 豪経
- 発行所

日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ

〒 103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 7-16 電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006 ウェブ https://www.jagra.or.jp/



ジャグラは一般財団法人日本情報 経済社会推進協会指定のプライバシー マーク指定審査機関です

■ 編集部宛メール edit@jagra.or.jp

◎ 企画:ジャグラ広報委員会

担当理事

神川 明彦 愛知・㈱カミヤマ/副会長 委員長

本村 豪経 福岡・アイメディア㈱/理事 委 昌

東海林正豊 秋田・㈱東海林印刷

谷山 和也 東京・菁文堂(株)

野口 謡 東京・㈱アクティブ

小澤孝--郎 山梨・㈱オズプリンティング

安達 睦男 大分・何舞鶴孔版

瀬尾 淳 広島・㈱広瀬印刷

健司 高知・衛三宮印刷 三宮

佐藤 愛子 大分・(株)クリエイツ

田中良平 専務理事

影山 史枝 ㈱スイッチ/外部委員

藤尾 泰一 (前インフォ・ディー/外部委員

◎ 原稿・編集・校正

田中 良平 並木 清乃

長島 安雄 以上、ジャグラ事務局

阿部奈津子

藤尾 泰一/侑インフォ・ディー/広報委員

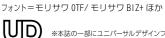
日経印刷(株)/校正のみ ◎ 渉 外 田中 良平 並木 清乃

◎ 広告 阿部奈津子

◎ Web 阿部奈津子

◎動画 今田 豪

◎ **組版 / デザイン** (有)インフォ・ディー D T P = Adobe CS6/CC (3.7)



※本誌の一部にユニバーサルデザインフォント を使用しています **FONT**

◎ **製版 / 印刷** 日経印刷(株) (東京・千代田支部) R I P=大日本スクリーン Trueflow

CTP=富士フイルム XP-1310R 刷 版=大日本スクリーン PT-R8800ZX

印刷機=ハイデルベルグ社 SM102-8P

インキ= DIC

用 紙=三菱ニューVマット FSC-MX 菊判 62.5kg ※本誌はFSC森林認証紙(管理された供給源からの原材料で 作られた紙)と LED-UV インキ (リサイクル対応型)を用い 環境に配慮した印刷工場で生産されています。 https://www.nik-prt.co.ip/

Copyright 2022 JaGra 禁無断引用

※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です 原則、TM や®マークは省略しています ※乱丁/落丁本はお取り替えいたします

【雑学コラムお題の答え】 愛媛県

RINGT970が SDGSを あなたのSDGSを ASSIST

"誰一人取り残さない"社会の実現を基本理念とし、全世界へ向けての持続可能な開発目標を掲げた SDGs (Sustainable Development Goals)。消費者や企業が、社会や環境面に配慮した商品やサービスを求める傾向が高まる中、印刷会社もその二一ズに応えることが求められてきています。

RMGT 970 モデルは、オペレーターフレンドリーなユーザーインターフェースや作業負担を軽減する自動化 / 省力化機能をはじめ、損紙の削減や電力消費量低減によって省資源 / 省エネルギーに配慮した、人に地球に優しい印刷機です。さらに菊全判ジャストサイズによるコストメリットはもちろん、生産性や印刷物の付加価値を高める各種オプション機能も充実した、経営にも優しい印刷機です。

RMGT 970 モデルは、SDGs に取り組み、サステナブルな成長を目指すあなたの会社を強力にアシストします。

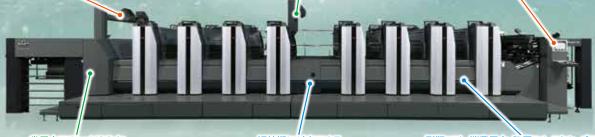


人に優しい 地球に



経営に優しい

ワンボタン操作で楽々印刷の スマートアシストプリンティングで人に優しい 品検、濃度・見当調整をインラインで行い 損紙を減らせる PQS-D で地球に優しい アイコンやグラフを使った誰にでも解りやすい グラフィカルユーザーインターフェースで人に優しい



省電力で NonVOC な LED-UV で地球に優しい 短納期に対応できる ワンパス両面印刷で経営に優しい 刷版コスト、消費電力、設置スペースをセーブできる 菊全ジャストサイズだから経営に優しい

